



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第1号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)

☎(0142)74-3015

ジオパークでふるさとづくりを

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会は、当圏域が平成21年8月に日本で初めて世界ジオパークネットワークの登録を受け、伊達市、壮瞥町、豊浦町、洞爺湖町の4市町が構成市町となり設置されたものです。

構成員は行政、観光業やガイド団体、教育関係、住民団体といった多様な分野の機関から成り、ジオパークの活動を定着させるための事業を行っておりますが、来年は4年に1度の世界ジオパークネットワーク登録の再審査を受ける節目を迎えます。

ジオパークとは、地質遺産の保全だけでなく、それを活用した防災・減災学習の場、また、ジオツーリズム(地質遺産を活用した観光旅行)を通じた経済の発展、さらに様々な食材など"ジオの恵み"を活用した取組みなども含めると、官民一体となった「ふるさとづくり運動」ともいえるものです。

「ジオパーク」という言葉は「世界遺産」に比べ、まだ知名度は高くありません。それだけに国内初の世界登録を受けた当ジオパークの取組みや在り方が注目され、また、日本ジオパークのけん引役となることも期待されています。そこで、当協議会の取組状況や今後の予定、また、全国のジオパークの様子、さらに住民の皆さんからの情報も得ながら「ジオパーク通信」を発行することにいたしました。今後のジオパークへの理解と一層のご協力をお願いいたします。

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会会長 洞爺湖町長 真屋敏春

ジオパークとは？

ジオパークとは、ジオ(Geo:地球)を学び楽しむことのできる自然公園のことです。

現在、世界ジオパークに認定されている地域は27カ国86地域あり、そのうちの5つが日本にあります。伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町と、留寿都村・真狩村の一部を含めた「洞爺湖有珠山ジオパーク」は2009年に日本で初めて世界ジオパークの認定を受けました。

世界ジオパークの主な要件

科学的に貴重な地質遺産(地層・火山・地形等)が多数あり、考古学的・生態学的・文化的に価値のあるエリア

公的機関、地域、民間団体による運営組織がある

ジオツーリズムを通じて地域の持続可能な社会・経済発展を目指す

博物館や散策路、ガイドツアーなどにより教育普及活動を行う
それぞれの地域の伝統と法に基づいた地質遺産の保護

ジオパークは「世界遺産の地質版」とも言われますが、世界遺産との違いは、地質遺産を保護するだけでなく、防災学習の場として整備し、自然遺産を観光資源とする満足度の高い観光「ジオツーリズム」を通して地域経済の発展を目指している点です。

	世界ジオパーク	世界遺産
目的	保護 + 活用	保護
地域の活性化	主目的の1つ	主目的ではない
世界の登録数	86	936
うち日本	5	16

変動する大地との共生



洞爺湖有珠山ジオパークの特徴は、11万年前の巨大な噴火によりできた洞爺湖、1～2万年前に誕生した有珠山、そして今も火山活動を学べるエリアであることです。

ジオパークを学ぶ・楽しむ・味わうには、どこに行ったらいいの？ということで、次号以降はジオサイト(ジオパークのみどころ)をご紹介します。